NPO法人環境市民の月刊会報誌

みどりのニュースレター

2016年5月号 no.276

今月の一枚



報告 グリーンコンシューマー全国一斉店舗調査

買い物の際の選択を変えることによって、社会や経済、私たち自身の暮らしをよりサステナブル（持続可能）なものに変えていく「グリーンコンシューマー活動」。環境市民は設立当初から日本ではじめてこの活動を展開してきました。

2015年度、2014年度に引き続き、スーパーに持続可能性を大切にした商品が販売されているかどうか、店舗として取り組みをしているかどうかを調査する「グリーンコンシューマー全国一斉店舗調査」を行ないました。会員のみなさんにもご協力いただきました。ありがとうございました。

今回はその概要を報告します。詳細は環境市民のウェブサイトからもダウンロードできます。紙媒体でご覧になりたい方は環境市民までご連絡ください。



2015 年調査報告書の表紙

【目的・ねらい】

今日時点のスーパー、生協等における環境、健康、社会的公正に配慮した製品の全国的な取り扱い状況と、店舗としての社会的活動 の全国的状況を把握し、消費者のライフスタイルの転換と流通小売り店舗の持続可能な消費・エシカル消費に関する取り組みを促進することを目的として実施しました。また、全国規模での調査を実施 することにより、併せて活動に取り組む団体や人々の輪を広げることも目的としました。

【調査概要】

実施日程：2015 年 11 月 21 日㈯、28 日㈯ ※一部店舗は 12 月 7 日まで実施

実施都道府県数：全国 31 都道府県

対象店舗：97 社 122 店舗(北海道 8 店舗、東北 13 店舗、関東 22 店舗、北陸 9 店舗、中部 13 店舗、近畿 32 店舗、中・四国 13 店舗、九州・沖縄 12 店舗)

調査実施者：全国28の団体と6 人の

環境市民は地域から持続可能な社会をつくる環境NGOです

今月の一枚

メルボルンで毎年12月に開催されている、いわばエシカルプロダクツ展「Moral Fairground」。そのコーディネーターをされている、孝二・ペインさん（写真中央）が環境市民のラジオ番組「エコまちライフ」に出演してくださいました。

個人 (呼びかけ団体：認定 NPO 法人環境市民)

調査方法：調査担当者が店舗に訪問し調査を実施、状況を把握

＜調査結果概要＞

今回の調査は比較的、欧米ではスタンダードになりつつある、パーム油問題への配慮、持続可能性を大切にした漁業の重視、トランス脂肪酸が問題となっているマーガリン類の使用に関する質問をしました。結果として取り組みが進んでいないことが明らかになりましたが、決して日本のスーパーが達成できない課題ではありません。欧米のスーパーは消費を通して、持続可能な消費の実現のため にイニシアチブをとっています。 私たち消費者が商品の選択を変えていくことも重要ですが、売り手となるスーパーの率先的なイニシアチブを期待しています。

●パーム油・海のエコラベル

持続可能性に配慮したパーム油の認証ラベルや持続可能な漁業で獲られた水産物に与えられる水産物のラベル「海のエコラベル」の普及度は、欧米のスーパーでは一般的になりつつあるのに対し、日本ではかなり低い普及率であることが明らかになりました。

●トランス脂肪酸

イーストフードを使用していない食パンを販売している店舗は8割弱を占めていました。ただ、マーガリンやファットスプレッド、ショートニングを全て使用していない食パンを販売している店舗は4割強と、世界的にトランス脂肪酸の危険性が指摘されているにもかかわらず半分以下という結果になりました。

●放し飼い、放牧

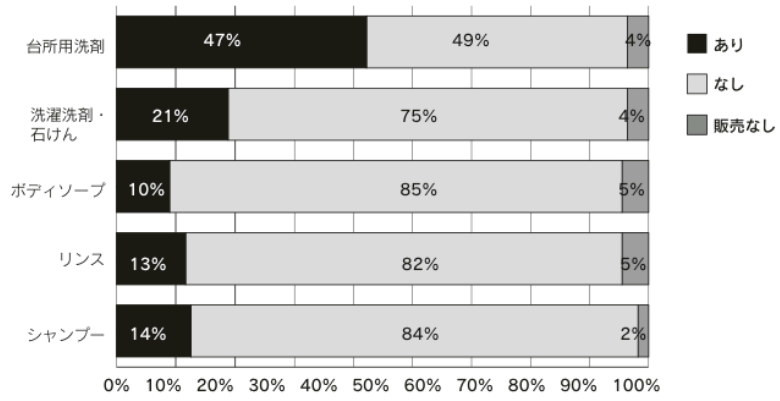
「放し飼い」又は「放牧」、「平飼い」と表示された卵を販売している店舗は 22%。バタリーケージを禁止している EU、オーストラリア等と比べると低い数値となりました。また、「放し飼い」又は「放牧」と表示された牛乳の販売を販売している店舗も16%と低い結果になりました。

●替芯、充電式電池、リユースびん

ボールペンの替芯や充電式電池は5割弱の店舗で、紅茶の茶葉は 8 割強の店舗で販売されていました。リユース（リターナブル、再使用）瓶のビール類の取り扱いは 6 割強と半数を越える店舗で取り扱いがありましたが、リユース瓶の回収を

洗剤における持続可能性に配慮したパーム油の認証ラベルの表示の有無

持続可能性に配慮したパーム油の認証ラベル（右ロゴ）の表示のある洗剤の販売を行なっている店舗は、台所用洗剤の５割弱と他の洗剤に比べて最も多く、次いで洗濯洗剤・石けんが約２割となっています。しかし、それ以外のシャンプー、リンス、ボディーソープにおけるラベルの表示は 10% 台で同じ洗剤製品でもバラツキがあることがわかりました。

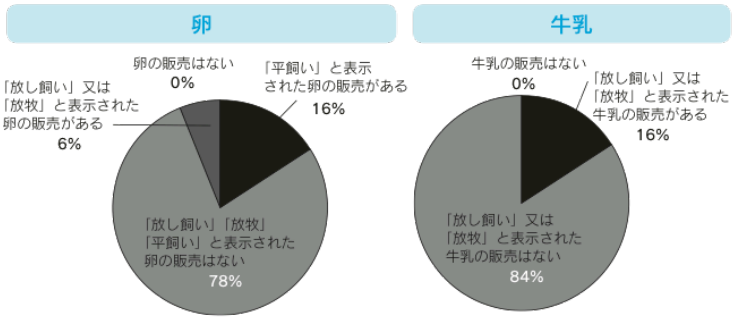


調査結果

卵……「放し飼い」又は「放牧」、「平飼い」と表示された卵を販売している店舗は２割強ありましたが、残りの店舗では全てこうした表示のない卵でした。

牛乳……「放し飼い」又は「放牧」と表示されていない牛乳しかない店舗が８割強と大半を占めていました。

売り場の大半が「放し飼い」又は「放牧」と表示された卵（卵の場合は「平飼い」含む）や牛乳が売り場の大部分を占めるイギリスやオーストラリアとは大きな違いです。アニマルウェルフェアの改善は動物の苦痛を減らすだけではなく、働いている人の労働環境の改善や食する私たち人間の健康にもつながる課題だけに日本でも解決のため取り組みを促進する必要があります。



している店舗はビール類を販売する店舗の内の約5割強しかありませんでした。さらに、返却のカギとなる「回収をよびかける掲示が売り場に分かりやすく掲示されている」店舗はわずか7%に留まっています。

●店舗での社会的な取り組み

店舗での社会的な取り組みでは「地域のイベント等のちらし設置、ポスター掲示」がもっとも多く 8 割弱でした。

（文：コーディネーター　有川 真理子）

行事

※申込みは、名前、電話番号、メールアドレス、会員or一般の別を環境市民までご連絡ください

ボランティア　誰でも参加できる1Dayボランティアデー

5/25（水） 午後2:30から5:00頃まで

●ところ：環境市民京都事務局

会報誌『みどりのニュースレター』の発送作業をします。はじめての方も大歓迎。ぜひお越し下さい。

講座　野の塾
アースガーデン・植月さんのヨーロッパ・サスティナブル・コミュニティ訪問レポート ～スウェーデン・マルメ市とデンマーク・マンクソーガード村を中心に～

6/4（土） 午後2:00から4:00

●ところ：東山いきいき市民活動センター 2F 集会室
●参加費：一般 800 円、環境市民会員 500 円
●定　員：80 人
●主　催：NPO 法人環境市民、アースガーデン
●後　援：環境省、厚生労働省、東京都（以上申請中）
●申込み：下記情報を添えて環境市民までお申し込みください。申込フォーム（https://goo.gl/8HZLZK）からもお申し込みいただけます。
①お名前　②お名前のふりがな　③電話番号
④メールアドレス　⑤環境市民会員／一般

植月千砂さんはかやぶきの里で有名な京都府南丹市美山町でパーマカルチャーデザインを参考にした持続可能性に向けた暮らしを試み、提案する「アースガーデン」を主宰されています。植月さんが最近訪ねたヨーロッパのサスティナブル・コミュニティのなかから、スウェーデンのマルメ市（Malmo）とデンマークのマンクソガード村（Munksogard）を中心に、映像とお話で紹介していただきます。環境と経済、社会を同時に満たすまちづくり・ライフスタイルとは？

私（たち）は何をめざして、どう生きるべきか。日常の生活のあり方を振り返る機会になれば幸いです。

〈当日紹介される主な事例から〉

○スウェーデン マルメ市

スウェーデン南端にある人口約 28 万人の都市。2020 年までに市内で販売される食品を 100%オーガニックにし、2030 年までに市全域のエネルギーを再生可能なものにという目標が掲げられています。500km の自転車レーンが市内に整備され、ビジネス関連の移動の 40%が自転車でされているのにあまり知られていないエコタウンです。

○デンマーク・マンクソーガード村

2000 年にできたデンマークの新しいエコビレッジで興味深い特色があります。コペンハーゲンから鉄道で 30 分のところにあります。大都市近郊なのに「ビレッジ」なのです。異なった教育的、経済的バックグラウンドをもつ人々が、豊かな人間関係を構築しつつ、環境に負荷の少ない生活スタイルを実現することをめざして建設されました。

〈植月千砂さん　プロフィール〉

大学講師をしながら、複数の環境 NGO のメンバーとしてさまざまな環境保護活動に参加。1998 年にはオーストラリア、クリスタルウォーターズでパーマカルチャーデザインコースを修了。海外のエコビレッジなど持続可能性に向けた居住地や、農場、菜園を視察しながら、パーマカルチャー入門講座の講師や、執筆を手がける。2002 年に都会を離れて京都府、美山町に移住し「アースガーデン」を主宰。2005 年に「子ども達が作った食べ物の森―都会の小学校にできたパーマカルチャーのラーンスケープ」を翻訳出版。

▼アースガーデンのウェブサイト
http://www.earthgarden.jp/

イベント　2016年度通常社員総会　日時決定

6/11（土） 午後

●ところ：京都市東山いきいき市民活動センター

詳細は次号ご案内します。

gooddo 環境市民ページにクリックをお願いします

環境市民は、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しています。

http://gooddo.jp/gd/group/kankyoshimin/?md=fb
（もしくは gooddo.jp へ行き、「環境市民」で検索）

上記のリンクから gooddo の環境市民のページに行き、毎日クリックをするだけで支援金が「環境市民」に届けられます。クリックのポイントに応じて環境市民に支援金が入ります。
ぜひ、毎日応援をよろしくお願いします！

今月のありがとう

（新入会）
中條 恭子、中間 大維、前田 聡子、前田 健志

（ご寄付）
持続可能な消費実現のための寄付キャンペーン実施に伴って、今回は大変多くの方にご寄付をいただいたため、次回のニュースレターでご報告させていただきます。

（ニュースレター発送作業）
久保 浩

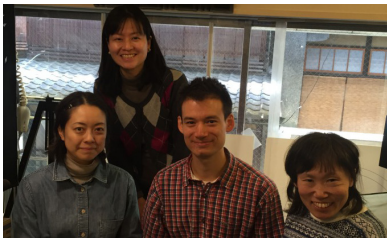
（ニュースレターの作成）
泉 克典、布留川 恭子

ON AIR

環境を身近に感じる 15 分♪

「環境市民のエコまちライフ」

メルボルン エシカル社会に向けたNPOの取り組み



モラル・フェアグラウンド（Moral Fairground）が設立された経緯とは？　オーストラリアのエシカル消費事情についても聞きました。

お話　：ペイン 孝二さん
（Moral Fairground コーディネーター）

▼インターネットで聴けます

まず、「環境市民のエコまちライフ」で検索。サイト内の 4/11、4/18 放送分（各 15 分）をたどってください

環境市民のエコまちライフ　検索

京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）から放送
radiocafe.jp/20034006

毎週月曜午後 1:00 から放送
（再放送は火曜午前 7:00 から）

「会員になる」「寄付をする」も参加の一つです。

環境市民は、ボランティアと会員、寄付によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ応援をお願いします。

お振込先　**【郵便振替 口座番号】**
01020-7-76578
加入者名：環境市民

〈会員特典〉月刊会報誌「みどりのニュースレター」マガジン「流れを変える」をお届けいたします。行事などの参加費を割引させていただきます。環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。入会時には記念ポストカードを差し上げます。
〈会員種類〉法人会員の他、個人会員（年会費 4000 円、入会金 1000 円）、シニア・学生会員（年会費 3000 円）などの種類があります。詳しくは事務局まで。
〈入会申込〉郵便振替振込用紙に、住所･氏名･電話番号･会員の種類･送金内容をご記入の上、ご入金ください。
〈ご寄付〉住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上ご入金ください。**環境市民への寄付は税制控除の対象**となります。

※遺贈、相続財産のご寄付も承っています。

誰もが参加できる環境 NGO

環境市民
Citizens Environmental Foundation

TEL 075-211-3521 FAX 075-211-3531
mail life@kankyoshimin.org
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 206
http://www.kankyoshimin.org
Twitter アカウント @kankyoshimin
facebook http://www.facebook.com/kankyohsimin



（発行）特定非営利活動法人 環境市民　（代表・発行人）枚本 育生

本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。「環境市民」登録商標 第4809505号